



HANAMIZUKI 花又ずき

福岡県立筑豊高等学校
PTA

直方市大字頓野4019-2
TEL : 0949-26-0324
FAX : 0949-26-0847

URL : <http://chikuho.fku.ed.jp>

卒業生・はなむけの言葉



PTA会長
川口 修

卒業生の皆さん並びに保護者の皆様へ、卒業おめでとうございました。心よりお喜び申し上げます。

本年度も昨年同様、コロナで始まりコロナで終わった1年となりました。皆さんは新型コロナウイルス感染症の影響を一番に受けた学年だったと思います。その為高校生活で一番楽しんでいた修学旅行にも行けなくなり悔しい思いや寂しい思いがたくさんあったと思います。いろいろあった学校行事も制限されての開催が多く、皆さんの活躍を実際に目にする事が出来なかつたことは保護者の方々も残念だったと思います。私たち保護者も皆さんにしてあげることが無く申し訳ない気持ちでなりません。

新しき旅立ちを祝して



校長
大石 太

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございませう。そして保護者の皆さんには本日までお子様を交えられ、こうして晴れの日を迎えられまして、たこを心よりお祝い申し上げます。

また、川口会長をはじめ、役員・理事の方々、そして保護者の皆様には、本校の教育活動や学習環境の整備に多大な御協力と御支援を賜りましたことをこの場をお借りして、教職員を代表して心から厚くお礼を申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは昨年度から2年間、コロナ禍での活動となり、学校行事の中止や縮小、部活動の大会の中止等、通常なら当たり前のように行っていた活動ができず、我慢しなければならぬ日々が続く、様々な苦労があったと思います。

そのような困難な中でも、皆さんは自分たちで「できる何か」を考え、最上級生としてリーダーシップを発揮し、自分たちの成長の証を発揮する場を作り、学校を盛り立ててくれました。困難に直面する時にどう対応するか、どう命を捉え、次に向かうといった姿勢が大切であり、その二つが、これからの皆さんの人生にとっての大きな糧となることは言うまでもありません。

今後、社会は、AI(人工知能)の進化にとまらぬ超スマート社会「ソサイエティ5.0」の時代に入っていきます。科学技術の進歩と経済の発展とともに、社会は大きくしかも急速に変化しています。じつくり、自

しかし、そんな状況であつてもこのような試練を耐え抜いてきたあなたは自分達の力でどうすればいいのかわかると、この先の新生活を見据えながら日々邁進していると思います。これからの人生でいろいろな困難に遭遇すると思いますが、今回の事を思い浮かべ4月からの新生活に活かして突き進んでください。私達は皆さんの応援としていつまでも応援しています。

改めまして、卒業生の保護者の皆様にはこれまでご協力を頂き誠にありがとうございました。最後にありますが、校長先生を始め諸先生方におかれましては日頃からの温かいご指導があり生徒達もここまで成長することができました。保護者を代表して厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

分で考え判断していく力がないと時代に流されてしまいます。これからは、単に高校や大学を卒業したという「学校歴」ではなく、資格を含めてどのような知識や技能を身に付けているか、そしてどのような知識や能力が評価される時代になっていきます。本当の「実力」を身につけて充実した日々を送るためには、いつても可能な限り何かを吸収しようとする、すなわち生涯にわたって学び続ける強い意志と積極的な態度が必要で、その意味においても、学校を卒業した後の社会での勉強が、皆さんの人生を大きく左右すると言っても過言ではありません。皆さんは、卒業後は自分の選んだ道をそれぞれ歩んでいくわけですが、途中で、いくつものハードルが立ちましたか。しかし、それを乗り越えて行かなければ、未来は見えてきません。

人間は挫折によって鍛えられ、たくましく成長していくものです。皆さんは、自ら進むべき道を失敗を恐れず、積極果敢に切り開いていってほしいと思います。自分の夢を実現するためには何事にも本気でチャレンジし、それが若者の特権です。本気の無いところ、喜びや充実感はありません。これからの人生、筑豊高校の卒業生としての誇りと自信をもって頑張ってください。

終わりに、131名の卒業生の皆さんひとり一人が、それぞれの世界に向けた力強い旅立ちを心よりお祈り申し上げます。

PTA活動を振り返って

総務委員長 安川 麻希子

卒業生並びに保護者の皆さん卒業おめでとうございました。皆さんは新型コロナウイルス感染症の影響を一番に受けた学年であったため生活状況が一変し、一番楽しみであった修学旅行にも行けなくなり悔しい思いがたくさんあったのではないかと思います。ほかの学校行事も制限された状態での開催になり、保護者としても皆さんの活躍を実際に目にする事が出来なかつたことが残念でなりません。しかし、そんな状況であつても皆さんは自分達でどうすればいいのかわかると、この先の新生活を見据えて今も努力していると思います。私達はそんな皆さんをいつまでも応援しています。

今年度委員会の活動もコロナの影響で何も出来ず、唯一花植えが出来たことは嬉しいと思います。最後に、来年度は充実した学校生活を送れる事を願っています。

卒業生の皆さん並びに保護者の皆様へ卒業おめでとうございませう。昨年も引き続きコロナ禍の中色々影響がありご苦労があつたと思いますが、広報委員会も通常の活動方法ではなかなか上手いかず、メルでのやり取り、少人数での活動等行つてきました。花みずき作品の作成にあたりPTAの方々からのアイデアや先生方のご協力のこともスムーズに発注する事ができました。3年間学校の活動にも少しですが触れる事ができた良い経験ができました。リスペクト！

健全育成委員長 岡山 太一

卒業生の皆さん、保護者の皆様へ、卒業おめでとうございませう。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響がある中で朝の挨拶運動を行つてきました。皆さんの、立ち止まってお辞儀をする丁寧な挨拶、マスク越しに聞こえる元気な挨拶で、朝から気持ちよく過ごすことができました。これが皆さんの社会に出て行くための準備ですが、社会人としてまず大切なのは挨拶です。挨拶をする事で自分を認識してもらえ、相手はもちろん、コミュニケーションや会話のきっかけになります。丁寧な挨拶は相手との信頼関係を築き上げ、その信頼はどんなビジネススキルにも勝る皆さんの財産になるはず。挨拶を大切に頑張ってください。

3年生PTAの皆さん

- 〈副会長〉 寺田 麻美
 - 〈総務委員会〉 奥田 恭子 面野 恵子
福田 政代 永測 美絵
安田サヨ子
 - 〈広報委員会〉 藤 智恵子 西岡 正美
 - 〈健全育成委員会〉 行徳 隆之 反田 和子
野上真規子 月成 優子
- (敬称略)
ご協力ありがとうございました。

はなむけの言葉 3学年の先生方より

全てを持っている

第3学年 主任 高橋 祐子

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、不慣れた高校生活は突然来しました。1年生の2月のことですが、2年生の行事はほとんど中止または縮小となり、修学旅行さえも行けなくなりました。とても残念でした。

しかし、その中でも精一杯努力し希望進路を実現させ、筑豊フェスティバルウィークやクラスマッチ、課題研究生徒実践発表会、生徒の未来を考えるプロジェクトまとめ発表会において、個人またはチーム・クラス全体で活躍し、とても充実した高校生活を取り戻しました。

「無」物中無尽蔵(むいちぶちゅうむじんぞう)という俚語は、「何も無いと思っても、本当は全てのもの(求めるもの)はそこにはある。」という意味です。

正に皆さんはこれを体現し、「自分は誰かを支え、みんなの支えがある」ということも実感できました。

今後とも感謝を忘れずにとのような逆境であつても「全てを持っている」ことに気づいてください。111期生の皆さんの活躍、ご多幸をお祈りしております。
ご卒業おめでとう！

3年1組 担任 白石 季隆

卒業おめでとうございませう。

今、振り返れば、あつという間の3年間だつたと思ひますが、決して「一日」は短いものではないであつたのではないであらうか。

勉強がわからなくて授業に集中できなかったとき、友達との関係がうまくいかなかったとき、就職や進学で迷ひ結果が出なかつたときなど時間が経つのが遅く感じ、高校生活自体が嫌になつたりすることはなかつたであらうか。

そのような中、皆さんは、それら乗り越えて今日の日を迎えています。嫌なこともや大変なことは、生きていく中で必ず複数あります。

それら乗り越える力は経験だと思ひます。君たちは、学校生活で一人ひとり様々な経験をして力をつけてきました。これからの人生で多くの困難にぶつかるでしょう。決して逃げることなく、自分が蓄えた力で向かつていくことが大切です。

どんなに大変でも必ず春は来ます。それぞれの道で君たちが頑張ることを期待します。

損して「徳」とれ

3年2組 担任 田代 幸一

「卒業おめでとうございませう。」
「損して得とれ」という言葉があります。最初は損してもやればいつか得をする、つまり、目の利益ばかりにとらわれず、長期的な視野で物事を視ようということです。

「こんなことやっても無駄だ」
「何でこんな苦しいこと自分がやらなといけな」

「おもしろくないからもうやめよう」
などと思ふことがこれからたくさんあります。

そんな時、そこから逃げるのではなく、苦勞(損)してでも一生懸命取り組めば、他の誰かがきつと皆さんのことを見てくれている(評価してくれている)はずで、結果的にはうまくやれないこともあるでしょうが、やらないうちはまじです。きつと、人を思いやり、正義を買ひ、礼を尽くし、知恵を磨き、人を信じる心が芽生えてきます。それが「徳」です。

「人」として一番大切なものは「人柄」だと思ひます。それは、勉強して身に付くものではなく、「損して」「徳」をすることで作られるものだと思ひます。

最後に、論語からこの言葉を贈ります。

徳は孤(ひとり)ならず必ず隣(トナリ)あり
(徳のある人は孤立することなく、必ずよき協力者にめぐまれる。)

3年3組 担任 吉田 幸太

卒業おめでとう！
高校生活はどうでしたか。私があなたたちに伝えたかったのは、どんな困難な状況であれ、林まず続ければ、それが大切でありどんな無理難題を突きつけられても、挑戦する気持ちをもち、ことに意味があり人に愛されることは何よりも力になるということです。伝わつてくれれば何よりです。

今日この日を迎えることができたのは、家族、友人、先生方、多くの人のおかげだと思ひます。感謝の気持ちを決して忘れることなく、これからあなたたちが人を展(あ)かせる幸せにできる人間になってほしいと思ひます。

3年間、本当にお疲れさん！あなたたちの担任であつてよかつたです。ありがとう。

3年4組 担任 森田 保恵

3年生の皆さん、卒業おめでとうございませう。とうとう、お別れの時がきました。

文化祭等の学校行事として理屈抜きで頑張りを発揮した検定！人前で話したり、二つの仕事を同時に、どれだけの時間をかけた準備が必要かを知り、自分の思いや考えを表現し、理解してもらふことの大変さ、大切さもわかりましたね。

とうとう、お別れの時がきました。35人、それぞれの進路に向けて歩み出します。真摯に自分と向き合つて決めて下さい。

新たな生活の中で、「もう無理、絶対できない」と投げ出したくなつたり、「自分には関係ない、やっても意味がない」と思ふことも出てくるでしょう。そんな時、見方を変えれば、自分にとって大切なチャンスになることがあります。チャンスに気づけるかは、「今」を大切に誠実に向き合つて行くことです。この筑豊で、失敗もチャンスに変えられることを学びました。あきらめず、自信を持って進んでいきましょう。

3年4組の皆さん、いよいよお別れです。3年間を振り返つてみると、皆さんは、実に素直でした。実に優しかった。実に明るかつた。実に頑張り屋で諦めなかつた。

そんな皆さんと担任として3年間過ごすことができて、感謝しています。いつまでも、皆さんを応援しています。

3年4組 副担任 喜田 美和

「卒業おめでとうございませう。」私は毎日「今日もありがたかつたなあ、感謝」と思ひます。皆さんは新生活に向けて少なからず、不安があると思ひます。私も以前は不安の山を頭に乗せて生活していました。でもあるとき、ある人に「その思つている不安は実際に起きたか？」と聞かれ、冷静に考えたら「起きてないなあ」と気づきました。その日から自分の大切な時間をそんな暗いもので費やすのはもつたないと思ひ始めました。

社会は厳しい、と言われます。大丈夫です。社会には困つているときに、手を差し伸べてくれる人はいます。その差し出された手に素直に手をのびて人になつて下さい。そして自分の声が聞こえる人になって下さい。そうすれば、いつか人に手を差し伸べて、人の声が聞こえる人になれると思ひます。素敵な毎日を重ねて下さい。



3年1組 副担任 重藤 真二
 筑豊高校1-1期の皆さん、卒業おめでとう
 ございます。今年度、筑豊高校に転動してきま
 したが、皆さんのおかげで快適に1年間を過ご
 することができました。学校が好きなのに、嫌
 いだった人もいました。ですが、今後は全員が
 筑豊高校卒業生として人生を歩んでいくこと
 になります。社会に出て、筑豊高校に来ること
 とは全くもって遠くから母校を懐かしく見守
 って欲しいと思います。皆さんが社会で活躍する
 ことが、筑豊高校の発展にもつながります。
 楽しいことも、大きな壁にもぶつかるともあ
 るでしょう。逃げることなく人生を突き進んで
 下さい。遠くからではありますが、期待していま
 すよ。また、どこかで、生徒としてではなく、社
 会人として再び会うことを楽しみにしています。

「行動を伴う挑戦を」

3年1組 副担任 沖野 公祐
 3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございま
 す。初めは「この人何の先生だろ?」という状態
 でスタートして、2学年時の1年が過ぎたこと
 を今でも鮮明に覚えていてます。
 3年生になり、やっと生物基礎の授業で皆さ
 んと関わって、貴重な時間を一緒に楽しく過
 させてもらいました。本当にありがと。卒業に
 際し、最後に皆さんに、この言葉を贈りたいと
 思います。私が大切にしている言葉の一つに「考
 える、そして動け」というものがあります。私は
 授業の時、時事ニュースや様々な生物学の知識
 に対して「これ、どう思う?」という質問を皆さ
 んによくしてきました。この問いかけの本質は
 答えを出すのではなく、「自分の頭で考える」
 ことの楽しさ、友達と話し合うことによる
 「他者とのコミュニケーション」の大切さを実感し
 てもらうことにあります。

そしてこれからより重要になってくるのは、
 考えて終わりではなく、実際に行動するとい
 うことです。10の失敗を重ねて1つの成功を得る
 ように、「自分で考えたものに、挑戦してみる。動
 いてみる」これを若いうちから意識して頑張っ
 てほしい。皆さんのこれからの人生を陰ながら応援
 しています。

3年2組 副担任 立川 広二
 3年生諸君、卒業おめでとうございます。
 新たな出発にあたって、はなむけの言葉を贈り
 ます。
 「知は力」です。
 勉強は、社会に出る前の戦つぷしではない。
 勉強は、強制されて取り組むものではない。
 勉強は、受験を突破するための手段では
 ない。
 先の見えないこの時代を生き抜くために、勉
 強は絶対不可欠なものです。
 困ったとき、苦しいとき、そして、これからど
 う進むべきか迷ったとき、勉強してください。
 諸君の健康を心から願っています。
 筑豊生、頑張れ。

3年2組 副担任 安田 崇
 卒業おめでとうございます。
 みなさんは、1か月後の4月1日から正式に
 民法上成人となります。学校という失敗から学
 べる場から出て、また保護者から守られた立場
 から外れ、社会に出て成人としての自覚が求め
 られます。これまで培った知識と経験を元に、
 先を見据えた行動や決断をしていかなくては
 なりません。しかし、一人だけで悩む必要はあり
 ません。困ったり、悩んだりしたときは、周囲の
 信じられる大人や友達に相談をして決めてい
 ってください。きっと良いヒントが見つかると思
 います。

最後になりますが、まだまだ新型コロナウイ
 ルスで先行きが見通せない社会情勢ではありますが、
 健康が何よりも大事だと思いますので身
 体に気を付けて、頑張ってください。

3年3組 副担任 和田 貞彦
 卒業おめでとうございます。人生の準備期間
 が終わり、ここからが本番のスタートだと思
 います。
 皆さんに言送るとしたら、「一流の社会人
 なれ」ということです。なにも「出世しなさい」と
 言っているわけではありません。人の価値は、社
 会的地位や役職ではありません。生きざまだ
 と思います。「人として当たり前のことが当た
 り前にできる人」「自分の能力や実績におこら
 ない謙虚な人」「失敗を人のせいにはしない人」こ
 ういう人こそ「一流の社会人」。だと私は思いま
 す。
 決して長いものに巻かれることなく、物事の
 本質を見極め、おれることなく信念を持って行
 動する大人になってください。必ず誰かが見てい
 ます。逞しくなった皆さんにいつか再会できるこ
 とを楽しみにしています。
 では、お元気で。

3年3組 副担任 中野 多加代
 ご卒業おめでとうございます。
 ご卒業おめでとう。筑豊高校に入学し、楽しいことも嫌
 なこともあったでしょう。しかし、筑豊高校で学
 んできたことは、決して無駄ではありません。
 挨拶、時間感覚、マナー、自分で考える力など、い
 ろいろあると思います。
 これから皆さんはそれぞれの道(夢)に向かっ
 て進んでいきます。筑豊高校で学んだことも活
 かせることでしょうか。もしも、自分一人ではど
 うにもならない時は、一人で悩まず誰かに相談して
 みましょう。「三人寄れば文殊の知恵」というよ
 うに、ヒントやアイデアが貰えるはずですよ。学
 生時代に得た友だちは一生の友ともいえるはず。
 相談してみてもいいです。
 「二期一会」二つひとつの出会いを大切に、これ
 から頑張りてください。

3年4組 副担任 榎 とみ代
 3年生のみなさん卒業おめでとうございます。
 みなさんとは1年間の間わりでしたが、なぜ
 か随分前からこの学校に一緒にいるかのよう
 な不思議な感覚があります。それは、みなさんが
 校内のどこで会っても明るく挨拶をしてしてく
 れるからだだと思います。人の印象は、本人の気持
 ち次第で変わることがあります。なぜなら私
 は以前、習慣で廊下を歩くときは、いつも下を
 向いて歩いていました。ある時、突然前から歩
 ってくる先生に「下を向いて歩くな、上を向いて歩
 け!」と、言われたことがありました。元気がなく
 暗い印象を与えたのでした。それ以来、前を向
 いて歩くように心がけています。
 好印象を持たれるためには挨拶はとても大
 切なことで、それを習慣としているみなさんは
 素晴らしいです。

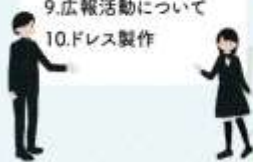


令和3年度 福岡県立筑豊高等学校 課題研究生徒実践発表会

12月11日(土)、コミュニティのおがたにて「課題研究生徒実践発表会」を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、生徒と来賓のみ入館していたが、保護者の皆様にはオンライン配信を行いました。

— プログラム —

1. 資格取得(情報処理)
2. 資格取得(簿記)
3. 商品開発
4. 広告制作
5. 産業現場実習
6. 地域創生
7. 動画編集
8. 調査研究講座
9. 広報活動について
10. ドレス製作



ロビーの様子



令和3年度PTA研修会

11月24日(水)PTA主催の研修会が開催されました。

例年は、研修旅行として、企業や大学の見学や史跡名勝を訪問していましたが、昨年はコロナ禍のため、研修旅行が中止となりました。今年度は、校内での研修会と併せて、日頃の授業見学と研修会というスケジュールでした。今後も、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、多くのPTAの方が参加できる企画を考えていきたいと思います。

5限目の授業見学では、1年生から3年生へと校内を巡回していきました。生徒たちの元気に明るく授業に臨んでいる様子を見学できました。「皆さん真剣に先生の説明を聞いていますね」など感想をいただきました。最後は3年生の体育の授業見学、練習中のエアロビクスダンスを披露してもらいました。

6限目の研修会では、第1パソコン教室にて、「性の多様性」についての研修を行いました。

今年度人権学習として生徒が受けた授業を、人権教育担当が行いました。SDGs目標の中からジェンダー平等を実現しようのテーマに沿って、LGBTについて動画を視聴し感想などをまとめていきました。参加者の皆さんの真剣なまなざしが印象的でした。



新旧生徒会

旧生徒会長 北里 紀織(木犀瀬中出身)

皆さんこんにちは。旧生徒会長の北里紀織です。終業式の際にもお伝えしましたが、今まで私達の生徒会活動を応援していただき、ありがとうございました。

振り返ってみると長かったようで短かった生徒会活動。色々なことがあり、また、その思い出の中には、必ず今この文章を読んでくださっている生徒の皆さんがいます。

朝の挨拶運動では、私達、生徒会に負けにくいぐらいの元気な声で挨拶を返していただき、SDGsの活動では、積極的に過賀川清掃に取り組んだり、画用紙を思い思いの解決策で埋め尽くして下さったり、ここでは書ききれない程、皆さんと一緒に過ごしたかけがえない日々、そして、かけがえない思い出を共に作ってください、ありがとうございました。

最後になりましたが、新生徒会の皆さん、今度は皆さんが学校を導く番です。大切なのは諦めないこと、そうすればいつか花開く日が来るでしょう。陰ながら応援しています。



(旧)生徒会集合写真



(新)生徒会集合写真